

真庭市産業サポートセンターの取組状況

《真庭市産業サポートセンター設立経緯》

・平成19年度

中国経済産業局及び独立行政法人中小企業基盤整備機構中国支部と協力して、真庭市の産業振興政策の立案に係る調査を開始した。

・平成20年度

「真庭市産業振興政策の立案に係る調査報告書」により、経済構造分析からみた市の特性と産業振興の方向性が示され、9月29日に講演会を開催して、市内の産業関係者等に公表した。具体的には、産業間及び企業間の情報を共有し連携を強化していくことや、地域資源を活用した新たな産業を創出していくため、真庭市、真庭商工会、真庭農協、びほく農協が連携して、市内企業や生産団体等が連携して取り組む新商品の開発支援や市内調達の促進などのマッチングと支援体制を構築していくことが、各団体によって10月24日に合意形成された。なお、当産業サポートセンターは、真庭森林組合と真庭木材事業協同組合には協力団体として、岡山県産業振興財団と中小企業基盤整備機構には支援団体として、ご援助をしていただくことになった。

※平成20年12月11日設立

《これまでの主な事業実績》

(1) 産業振興に関する相談・提案受付

①相談窓口の相談受付件数

- ・平成21年度：25件
- ・平成22年度：22件
- ・平成23年度：16件

②市内企業や生産組織等のマッチング件数

- ・平成21年度：6件
- ・平成22年度：4件
- ・平成23年度：4件

(2) 市内企業・業界動向などの情報収集

①市内企業・団体等への訪問件数（延件数）

- ・平成21年度：106件
- ・平成22年度：145件
- ・平成23年度：118件

②企業アンケートの実施

- ・平成21年度：「真庭のモノづくり産業展」への出展意向調査アンケート等
- ・平成22年度：「真庭のモノづくり産業展」出展者及び来場者アンケート等
- ・平成23年度：「しんきん合同ビジネス交流会」出展者アンケート等

(3) 主要事業について

- ・平成22年度：「真庭のモノづくり産業展」の開催

- ・平成23年度：「しんきん合同ビジネス交流会」への出展
- ・平成24年度：「グリーン・フェスティバル」の開催（予定）

※詳細 別紙1のとおり

(4) 市内企業・団体などに向けた産業振興に関するセミナー等の開催

- ・平成21年度：2回
- ・平成22年度：2回
- ・平成23年度：4回

(5) 農商工連携など市内産業の発展に寄与する事業の支援

市内の企業又は団体等が取り組む、経済活性化に資する産業連携事業で、将来に渡って展開され、実施効果の認められる事業について支援を行い、産業の振興を図ることを目的とする支援事業を実施する。

- ・平成21年度：5件（支援額 3,180千円）
- ・平成22年度：5件（支援額 3,294千円）
- ・平成23年度：3件（支援額 3,000千円）

※詳細 別紙2のとおり

(6) 「真庭ブランド」の推進支援

- ① イベント開催、各種イベント出展、展示商談会への参加等
- ② 広報PR（コーナー設置の推進、巡回展示の実施、広報資材の作成等）
- ③ 販路開拓・消費拡大等支援事業の実施

《平成24年度の事業計画》

(1) 産業振興に関する相談・提案受付

- ① 相談窓口の相談受付
- ② 相談案件に対して国県や他機関と連携をとり、問題の解決、支援制度の紹介、市内企業や生産組織等のマッチングを行う。

(2) 市内企業・業界動向などの情報収集

- ① 企業等の訪問：延べ100社以上
- ② 関連事業の講演・セミナー等への参加や、他機関との情報交換を行い、業界の動向など情報収集を行う。

(3) 市内企業・団体などに向けた産業振興に関する情報提供、セミナー等の開催

- ① グリーン・フェスティバルの開催
- ② セミナーや講演会等の開催
- ③ 国、県等の支援制度や産業振興に関する情報提供を行う。

(4) 農商工連携など市内産業の発展に寄与する事業の支援

- ① 真庭市産業サポートセンター支援事業の募集及び実施

(5) 「真庭ブランド」の推進支援

- ① 各種イベント出展、展示商談会への参加等

(6) その他事業

- ① ホームページの更新やその他、産業連携に必要な支援等を行う。

別紙

平成21年度事業実績一覧

対象事業	支援事業者	所在地	実施事業名
農林製品の二次加工・付加価値の拡大等に関する事業	(株)古見屋羊羹	落合垂水	地元産「備中白小豆」を使用した新羊羹(白羊羹)の開発・販売
	とうふ屋元勢	蒜山上福田	キヨミドリの豆乳を使った完全植物性プレーンヨーグルトの開発と販売
真庭ブランドの販路開拓・消費拡大等に関する事業	郷原漆器生産振興会	蒜山上福田	郷原漆器の販路開拓及び消費拡大事業
	(株)辻本店	勝山	真庭の資源(原料米、水、人)と備中杜氏の技で造りあげた純米酒「ひるぜんの恵」の販売事業
地産地消の拡大等に関する事業	勝美システムズ(株)	蒜山下福田	地元産野菜・果物の販売用小売店舗の開設とその様子が見られるライブカメラを使用したインターネット通販サービス

平成22年度事業実績一覧

対象事業	支援事業者	所在地	実施事業名
農林製品の二次加工・付加価値の拡大等に関する事業	(有)リカーショップ落合	下市瀬	「真庭産の梅」を活用したりキュール商品の開発及び消費拡大
真庭ブランドの販路開拓・消費拡大等に関する事業	富原製茶組合	若代	真庭ブランド「とみはら茶」の販路開拓と魅力アップ事業
	(株)辻本店	勝山	真庭ブランド認定商品「ひるぜんの恵」の販路開拓事業
地域連携型新ビジネスモデル創出事業	富岡印刷(株)	勝山	地域内の安心安全をテーマにしたエリアコミュニティモールによる地域経済活性化事業
	(株)ヒルゼン高原センター	蒜山上福田	HIRUZENてづくりプロジェクト

平成23年度事業実績一覧

対象事業	支援事業者	所在地	実施事業名
新製品の開発等に関する事業	ひるぜんワイン(有)	蒜山上福田	蒜山産山葡萄を使用したヤマブドウワインビネガーの商品開発と販路開拓事業
農林製品の二次加工・付加価値の拡大等に関する事業	(福)蒜山慶光園	蒜山上福田	湯原産の青大豆(キヨミドリ)を使用したキヨミドリラーメンの商品開発と販路開拓事業
地域連携型新ビジネスモデル創出事業	(有)岡本旅館	久世	旧遷喬小学校を活用した地域ビジネス創出事業

《平成22年度：真庭のモノづくり産業展の開催》

市内のモノづくり企業や団体等が一堂に会し、優れた技術や製品を市民や市内の高校生など多くの方々に紹介することができ、地域産業を広く発信し、「つなげる」場を創出するきっかけづくりとなった。

- 期 日：平成22年9月17日（金）～18日（土）
- 場 所：白梅総合体育館
- 来 場 者：約2,200人
- 内 容：市内企業等の出展（市内34社、市外4社）、ビジネスマッチング、講演会、出展企業間交流会、物産コーナー設置、各種相談コーナー開設
- 成 果：出展者38社の内、21社が市民向けのPRが出来たなど成果があった。
※アンケート調査結果

《平成23年度：しんきん合同ビジネス交流会への出展》

県下最大級のビジネスマッチングイベントに、市内の企業・団体が真庭地域の一団のブースとして出展し、当日の来場者や他の出展者に対し、広く“真庭”をPRする機会となった。また、出展した企業・団体にとっては、新たな商取引や知名度の向上、企業間連携などに繋がる成果に結びついた。

- 日 時：平成23年9月14日（水） 10時～16時
- 会 場：コンベックス岡山（岡山市北区大内田675）
- 来場者数：約2,000人
- 出展者数：381社（内 真庭の企業・団体15社）
- 成 果：出展者15社の内、9社が商談成立などの成果があった。
※アンケート調査結果

《平成24年度：グリーン・フェスティバルの開催（予定）》

真庭地域の農林業を振返り、“未来の真庭”を展望する機会を提供する。農林業に関する各種取組みを通じて、真庭ならではの地域資源の良さを認識し、次世代の農林業を創出するきっかけづくりを目的として開催する。

- 期 間：平成24年10月3日（水）～7日（日）
- 会 場：久世エスパランドほか
- 内 容：地産地消フェア（JAまにわ主催）、パネル展示、高校生の研究活動・成果発表、基調講演、農林業観光ツアー（関西圏対象）、酪農体験（牛の搾乳体験）、里山宝発掘事業の成果紹介（富原地区婦人林業研究会の取組み）、料理講座、セミナー、バイオマスツアー（関西圏対象）、出前授業（湯原・美甘中学校）森林体験（子ども樹木博士認定会）

真庭市産業サポートセンターの体系図

平成20年12月11日 設立



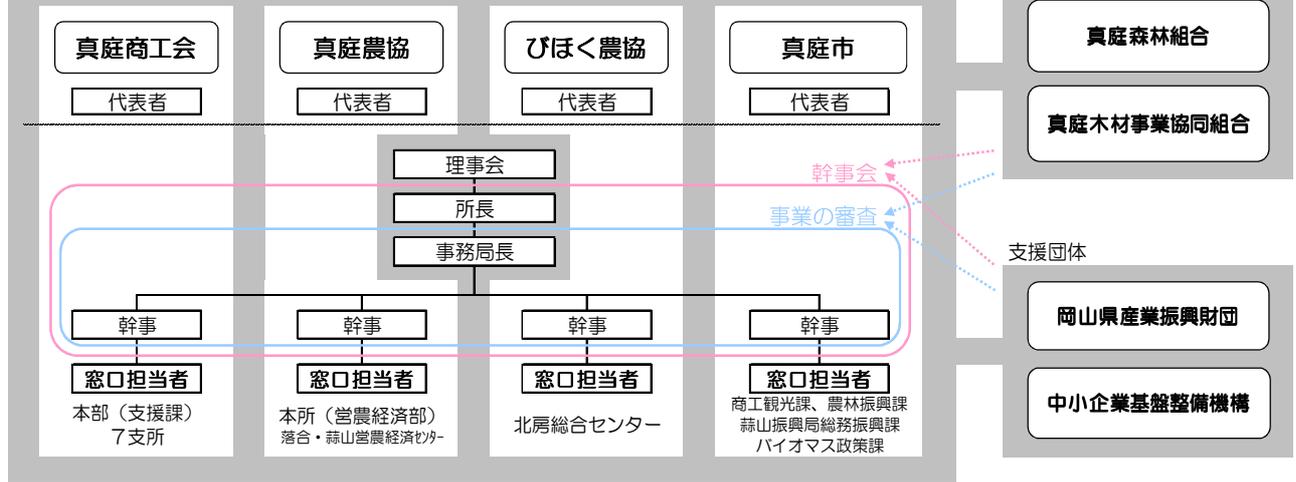
・目的

真庭市における自立型産業構造への転換に向け、農林業関係機関、商工業関係機関及び行政機関とが連携し、商工業の振興、農林業の振興、観光業の振興及び雇用の促進を図ることを目的とする。

構成機関

真庭市産業サポートセンター

協力組織



1. サポートセンター運営活動事業

- ①産業振興に関する相談・提案の受付
 - ②市内企業・業界動向等の情報収集
 - ③構成機関連携による、産業振興等の実施、支援
 - ④産業振興に関する情報提供、セミナー等の開催
 - ⑤構成機関相互の情報交換、課題の共有
 - ⑥「真庭ブランド」の推進支援
 - ⑦市内企業又は団体等の経済活性化に資する産業連携支援事業
- 事業費：100万円/年

2. 支援事業（支援金）

I. 産業連携支援事業

真庭市内の企業又は団体等が取り組む、経済活性化に資する産業連携事業で、将来に渡って展開され、実施効果の認められる事業について支援する。

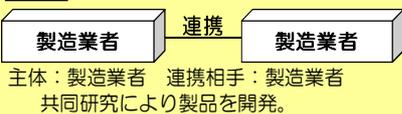
- ①新製品の開発等に関する事業
- ②地産地消の拡大等に関する事業
- ③農林産品の二次加工・付加価値の拡大等に関する事業
- ④異業種分野への新規参入事業

II. バイオリファイナリー研究開発事業

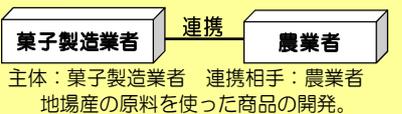
バイオマスを活用した新製品開発や市内産業の発展に寄与する事業等を支援する。

- ①新たな技術等を導入し、既製商品と差別化を図り、将来的に事業化・量産化が可能な新製品開発とその販路開拓
- ②地域のバイオマス資源を利用し、その資源を用いて、将来的に事業化・量産化が可能な新製品開発とその販路開拓

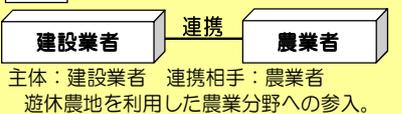
事例1



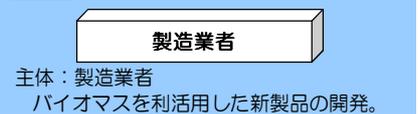
事例2



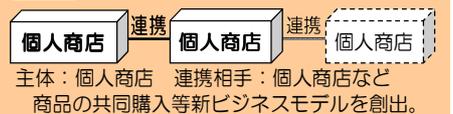
事例3



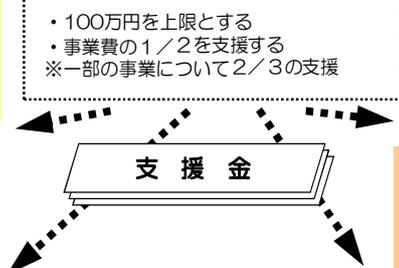
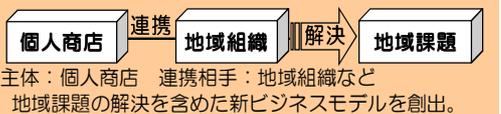
事例4



事例5



事例6



支援までの流れ

公募

応募

事業内容の審査

審査結果の決裁
(所長が決裁)

支援の決定
(理事会で決定)